

生涯学習のプラットフォーム構築推進事業について

1 事業の趣旨、目的

本県の超高齢社会に対応した生涯学習活動を推進していくためには、異なる組織が連携・協働し、世代間交流や地域社会への参画が促進される循環の仕組みである「生涯学習のプラットフォーム」を市町村（地域）に構築することを推進していく必要がある。

そのために、県では「生涯学習のプラットフォーム」で中心的な役割を担う人材の育成を行い市町村（地域）での活動につなげる。また、県内市町村の生涯学習推進の取組状況を調査し、好事例等を取りまとめ、各市町村の施策立案の参考としてもらう。

2 事業の内容

(1) 人材育成

ア コーディネーター養成研修の実施

県の指導者養成研修等の修了生など地域活動に基本的な知識のある者で自らの地域活動、自治体内の複数組織との連携・協働に意欲のある者を対象に、コーディネーター養成研修を実施する。

○研修の内容

(ア) 全体会 2回

- ・コーディネーター、地域のリーダーとして求められること
- ・地域課題の洗い出し
- ・地域課題の解決法
- ・成果発表

(イ) 活動実践（計画、実践、評価）2日程度、3か所程度予定

課題の洗い出し、解決のための活動実践を行う。

NPO等指導者の活動場所に研修生が出向き、活動の実践方法を学習する。

イ 市町村職員（公民館主事等社会教育主事）への研修

生涯学習のプラットフォーム構築には、地域住民と共に地域づくりを支える市町村の職員、特に社会教育主事の資質向上が重要である。そこで、大学と連携して開催する公民館主事等社会教育担当者研修会において、研修内容に生涯学習のプラットフォーム構築の推進について盛り込み、意識啓発を図る。

ウ 連絡会議

取り組み状況の共有、地域でのプラットフォームづくりのための情報交換及び連絡調整を行うため、連絡会議を開催する。

(ア) 参加者 コーディネーター養成研修研修生、市町村職員、県職員

(イ) 内容 取り組み状況の共有、情報交換及び連絡調整

- ・各市町村、地域の課題の確認について
- ・研修での活動グループ、活動場所について
- ・研修の成果発表について

(2) 市町村の取組状況の調査及び有益なプログラムや好事例の収集

市町村における生涯学習のプラットフォーム推進にかかる取組等の実態調査を行い、各市町村での超高齢社会に対応したプラットフォーム的な取組の状況を把握する。また、有益なプログラム、好事例を収集し、市町村間の情報共有のつなぎ役となる。

県の養成する地域活動のコーディネーター等の状況について(平成29年1月調べ)

資料2

No.	コーディネーター等の名称	養成状況(単位:人)			概要	連絡先			
		H25	H26	H27		部	課室	グループ	電話(ダイヤル)
1	愛知県防災ボランティアコーディネーター	448	381	409	大規模災害時に、被災地でのボランティアによる支援活動が円滑かつ効果的に行われるために、ボランティアの自主性を尊重しながらボランティアと被災地の支援要請との調整役を担っていく。	防災局	防災危機管理課	啓発グループ	052-954-6190
2	愛知県家具固定推進員	-	-	83	各地域で家具固定器具の取付支援や取付指導を行っているボランティアを対象に研修を実施し、愛知県家具固定推進員として登録し、地域の講習会やイベント、防災訓練等に派遣し、家具固定器具の取付実演や啓発活動を実施している。	防災局	防災危機管理課	啓発グループ	052-954-6190
3	環境学習コーディネーター	2	3	-	「環境学習コーディネーター」は、環境学習の実施に際して、学校等をはじめとする環境学習を受けたい主体と、NPOや企業等の環境学習を提供したい主体との橋渡し役を担い、各主体が連携・協働した環境学習が実施できるよう調整している。平成25年度及び平成26年度において「環境学習コーディネーター研修」を実施した。	環境部	環境活動推進課	環境学習グループ	052-972-9012
4	生活支援コーディネーター	-	-	※1 157	高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けて、地域に不足するサービスの創出やサービスの担い手の養成、高齢者等が担い手として活動する場の確保、関係者間の情報共有、地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチングなどの活動を行う「生活支援コーディネーター」を養成する研修を開催している。 コーディネーターの配置は平成27年度から各市町村において順次、行われており、市町村区域や中学校区域等の範囲において活動している。(介護保険制度における市町村実施事業)	健康福祉部	医療福祉計画課地域包括ケア推進室	地域包括ケアグループ	052-954-6228
5	キャラバン・メイト	130	135	224	「キャラバン・メイト」とは認知症サポーター養成講座の講師役であり、都道府県や市区町村等の自治体と全国規模の企業・団体等が全国キャラバン・メイト連絡協議会とが共催して養成している。キャラバン・メイトは認知症サポーター養成講座の講師役を務めるだけでなく、自ら近隣の人たちや仲間を対象とした講座を企画することも期待されている。なお、認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者であり、平成29年度末までに800万人養成する目標を認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)で立てている。	健康福祉部	高齢福祉課	介護予防・認知症グループ	052-954-6310
6	健康づくりリーダー	※2 2,458	2,547	2,639	健康づくりに理解と関心のある方を広く募り、健康づくりの指導者を養成するために、登録研修会を行っている。修了者は、希望により「健康づくりリーダー」として登録し、健康日本21あいち新計画推進の担い手として、地域における健康づくりの推進に寄与している。	健康福祉部	健康対策課	健康プラザグループ	052-954-6870
7	花育ティーチャー	個人: 13人、 団体: 3団体	個人: 15人、 団体: 2団体	個人: 6人、 団体: 2団体	「花育ティーチャー」は、フラワーデザイン、ハンギングバスケット、寄せ植えなどの作り方や、花や緑に関する専門的な知識及び経験を有し、幼稚園・保育園、学校等での花育活動の実施にあたり講師を行う人材として、指導・支援を行える個人又はグループを登録している。なお、特別な資格の有無を要件とはしていない。 花の王国あいち県民運動実行委員会(県及び花き関係団体で組織し、園芸農産課内に事務局を設置)では、花育教室等の実施を希望する学校・団体・企業等(利用者)に花育ティーチャーに係る情報提供を行うとともに、利用者の意向等を把握しながら調整を行い、花育ティーチャーを紹介している。	農林水産部	園芸農産課	花きグループ	052-954-6419
8	愛知県食育推進ボランティア	※3 913	1,041	1,050	食生活や栄養の改善、親子料理教室や農林漁業体験活動など県内各地域で様々な食育の推進活動を自主的に行っている方々を、愛知県が募集・登録し、情報提供や活動の橋渡しなどの活動を支援している。 この制度に登録した個人やグループを「愛知県食育推進ボランティア」と呼んでいる。	農林水産部	食育推進課	食育推進グループ	052-954-6396
9	愛知県青年講座修了生	18	13	16	愛知県青年講座は、持続可能な社会づくりが求められる現代において、子どもたちの「社会を生き抜く力(コミュニケーション能力、自立心、主体性、協調性、チャレンジ精神、責任感、創造力、変化に対応する力、異なる他者と協働する能力等)」を育む体験活動の指導者の育成を目指して開催しており、修了生は、青年リーダーとして、青少年団体・NPO等、地域社会における「新しい公共」の担い手となって活躍している。	教育委員会	生涯学習課	青少年教育・女性指導者支援グループ	052-952-6749
10	女性教育指導者研修会修了生	37	38	39	市町村において地域活動の担い手となる女性教育指導者を養成するため、昭和49年から毎年「女性教育指導者研修会」を開催しており、社会教育活動を企画実施するうえで必要な知識や技術の習得と、市町村を超えた情報交換の機会を設け、社会教育を担っていく指導者としての資質向上を図っている。その修了生は、各市町村において審議会等委員、団体の役員等を務め、地域の女性リーダーとして活躍している。	教育委員会	生涯学習課	青少年教育・女性指導者支援グループ	052-952-6749
11	子育てネットワーカー	71	56	46	子育てについて保護者からの相談に気軽に応じたり、地域の子育てグループや子育てサークルの活動を中心になって支援したりする「子育てネットワーカー」を養成する講座を開催しており、その修了生は、「子育てネットワーカー」として、県内各地で乳幼児から小中学生の子をもつ保護者の家庭教育や子育てについての相談に気軽に応じたり、子育てグループのリーダーとして活動したりしている。	教育委員会	生涯学習課	家庭教育・地域連携支援グループ	052-954-6780

※1 生活支援コーディネーターの養成人数は、研修参加人数である。
 ※2 健康づくりリーダーの養成人数は、昭和62年度以降の総養成人数である。
 ※3 愛知県食育推進ボランティアの養成人数は、各年度末の登録人数である。